

第 4 7 号

令和 元年 7月 1日発行

— 編集・発行 —

豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより



5月11日(土) 元気にリンリンとサイクリング

北浦一周 サイクリング

北浦の浄化を呼びかけて北浦湖畔を一周(最近では半周です)する毎年恒例の北浦一周サイクリングが、今年も実施されました。

まちづくりセンターと豊津小学校子ども会育成会が共催で行う当事業は、今年で三十七回目を迎える伝統ある行事です。親子二代で参加している方々も、多数いることでしょう。

五十年くらい前は泳ぐことができた北浦。また、そのような日が来るといいですね。

サイクリングコースの変遷

最近の記録が分かるものを掲載しました。

平成17年度	第23回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成18年度	第24回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成19年度	第25回	豊津小ー銚田	約70km
平成20年度	第26回	豊津小ー銚田	約70km
平成21年度	第27回	豊津小ー鹿行大橋	約50km
平成22年度	第28回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成23年度	第29回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成24年度	第30回	豊津小ー銚田	約70km
平成25年度	第31回	豊津小ー鹿行大橋	約50km
平成26年度	第32回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成27年度	第33回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成28年度	第34回	豊津小ー北浦大橋	約30km
平成29年度	第35回	公民館ー北浦大橋	約30km
平成30年度	第36回	公民館ー北浦大橋	約30km

※平成17年度は雨のためコースを短縮しました。平成23年度は東日本大震災の影響で行方、潮来側は走れませんでした。また、平成23、24年度は9月に実施しております。



和田委員長あいさつ

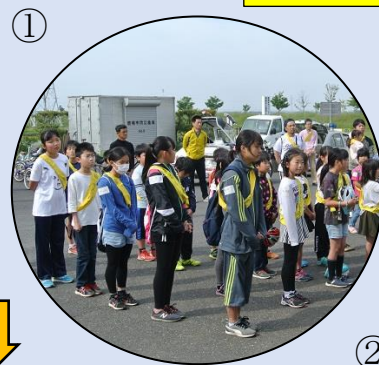
沢山の行事を実施してまいりました。

豊津地区まちづくり委員会は地区の皆さんのご協力をいただき、現在までソフトボール大会等、

本年は「いきいき茨城ゆめ国体」、来年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されます。サッカー競技会場となつています鹿嶋市には全国、更には海外からも沢山の人が訪れることが予想されます。市の西の玄関口になる豊津地区においても、おもてなしの心を持つてお客様をお迎えしようといういろいろな企画を練っておりまうので、皆さんのご協力・ご参加をよろしく願いたします。

サイクリングコース

- ① 豊津地区公民館(開会式)
- ② 西の一の鳥居(集合写真)
- ③ 須賀の辺り(堤防)
- ④ 北浦大橋
- ⑤ 白浜少年自然の家(昼食)
- ⑥ 白鳥の里(集合写真)
- ⑦ 豊津地区公民館(閉会式)
- ⑧ バイク隊(交通安全支援)

スタート

ゴール


つらら会(豊津地区社協)
令和もよろしくお願いします
五月十五日支援会議を開催し、事業計画を決定しました。
今年度も、集まった方々とお茶や食事をしながら楽しい時間を過ごす「ふれあいサロン」(地区内に四箇所)、ふれあいクリスマス会、ふれあい遠足などを実施してまいります。
豊津地区の高齢化率は三十八%と鹿嶋市全体の高齢化率三十%より高いものになっています。
皆さん、事業に参加して、健康で長生きしましょう。

豊津地区の未来を考えよう

四月二十三日に二〇一九年度豊津地区まちづくり委員会総会を開催し、新年度の委員会の体制、事業計画、予算等を決定しました。

今年度の新規事業の一つとして『豊津の未来を考える』を計画しています。豊津地区は、住民の減少や、少子高齢化が他地区に先立って進んでいくことが懸念されています。地区住民として、どう対処すべきか考える場づくりをしてまいります。

先ずは、市の出前講座等を活用した勉強会などから始めたいと考えています。具体的に決定しましたら「そよかぜ」でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

高齢者スポーツ大会

六月五日、まちづくりセンターで輪投げ・グラウンドゴルフ・クロッケーで腕を競い合いました。参加者は二十六人と、多くの方がスポーツを楽しんでいました♪



【競技結果】

★輪投げ

一位 荒野 昭さん

二位 小沼ナミさん

三位 坂本好子さん

★グラウンドゴルフ

一位 小沼義夫さん

二位 坂本好子さん

三位 秋竹千代さん

★クロッケー

一位 大船津 B

二位 大船津 A

三位 新田 B

今年も熱い戦いが

五月十九日、ト伝の郷運動公園で、ソフトボール大会を開催しました。今年も、六チームが参加し、三チームごとのリーグ戦を行いました。それぞれの一位チームによる決勝戦には、新田と大船津第二区が出出し、両チームとも好守・好打の熱のこもった展開になりました。七回終了時、同点だったため、決着はジャンケンに。結果、五対四で新田チームが平成十八年度以来十三年ぶり三回目の優勝を果たしました。おめでとうございました。(写真・優勝に喜ぶ新田メンバー)



収穫がとても楽しみです

今年も、とよつキッズ「リトルファーム」が始まりました。五月二十五日、暑い日でしたが、みんなが大好きなさつまいもの苗を植えつけました。畝立て、マルチ張り、苗

植え、水まきと作業がたくさんありましたが、参加した四十一人の子ども達はみんな頑張りました。収穫は、運動会の頃を予定しています。大きく育ってほしいですね。

(子ども達の感想)
・暑かったので、つかれた。
・くわを使うのがむずかしかった。

皆さんもご存知のとおり、今年は「いきいき茨城ゆめ国体」の開催年です。鹿嶋市では、『共に創り出そう鹿嶋市の火』という事業を行っており、豊津まちづくりセンターでは、この「リトルファーム」に合わせて実施しました。採光・木の摩擦の二通りの方法で『豊津の火』を採火し、その後、トーチに火を移し、子ども会毎にまちづくりセンターから一の鳥居まで、炬火リレーを行いました。

※「炬火(きょか)」とは、オリンピックでいう「聖火」。

国体の場合は、「炬火」と呼びます。

<豊津の火!>



かるためぐりシリーズ㊼

厄払い 村人守る 新田かぐら



新田かぐら
村人守る
厄払い

新田神楽は、鹿嶋市大字大船津の新田地区に伝わる神楽です。

その昔、鹿島神宮境内にあった涼泉寺という寺が火災にあい、ここに保存されていた獅子だけが難を逃れ、その獅子と鹿島神宮に伝わる巫女舞を大船津新田地区に移したものが新田神楽の始まりだと伝えられています。

新田神楽は、一月下旬の村祈禱の際に地区の各戸を回って家内安全・五穀豊穡を祈願してまわるほか、十二年に一度行われる鹿島神宮の大祭「御船祭」に、一番先頭に立ち、悪魔祓いをして御座船を守り導く役割を担っていました。四種類の獅子舞(乱獅子、下りは、昇殿、幣の舞)と笛と太鼓そして神楽歌から成り立っています。近年継承者が少なくなり途絶えてしまいました。

新田神楽歌

天下泰平 五穀成就のその為に 舞はさせ給えよ 御神楽を 神楽と書いたる二文字は 神たのしむと 読むと書く 神も喜ぶ事なれば 悪魔降伏 来たらじと 舞わらせ給えよ 伊勢神楽 村内安全 坪内安穩 御家益々御繁昌よとおう納さん以て太平樂よと改まる

(鹿嶋デジタル博物館から引用)

今年度の区長を紹介しま 1年間よろしくお願いします。



(前列左から)

- ・海老沢 文男 大船津第3区長
- ・仙波 一郎 大船津第1区長

(後列左から)

- ・小沼 和則 爪木区長
- ・本宮 貞夫 大船津第2区長
- ・大川 悟 大船津新田区長

子育て支援
とよつだより応援隊

五月十六日、豊津まちづくりセンターにおいて、親と子がコミュニケーションを楽しむ「親子リトミック」を実施しました。(講師) 谷藤祥子 先生
長原悦子 先生

今回は四組の親子が参加し、親子で触れ合い、心の絆を育みました。全四回開催の予定です。



たくさん実ってね

小学生がたんぼ体験

五月七日、豊津小学校の五・六年生と先生、豊津地区まちづくり委員会、公民館、学校支援ボランティアの皆さんが一緒になって大船津のたんぼで「田植え」をしました。

裸足で水温むたんぼに入り、土の感触を素足で感じながら、早苗をみんなで列になって間隔を見ながら、一生懸命植えてくれました。その姿に、私たちも心打たれました。

そして、月日が経ち、秋の収穫の季節を迎える頃、自分が植えた苗が大きくなって、黄金色に実った稲穂をながめながら、稲刈りをするのも楽しみです。

やがて将来、子どもたちが大きくなって、美しい田園風景をながめた時、この裸足になったの田植え体験や稲刈りなど思い起こしていただけたら幸いです。

(文・圃場協力者 高安広子さん)

★児童感想★

・はじめてたんぼに入りました。足が思うように動かなかったけど、楽しかったです。

・たんぼに入ったら泥が温かったです。頑張って植えました。稲刈りが楽しみです。

(五年 松本小幸さん)
(六年 宮崎湧さん)



きれいな豊津を目指し

豊津地区では、市主催の市内環境美化運動(一斉清掃)とは別に、豊津独自で「豊津クリーン」を行っています。一回目は、五月十二日に行い、各地区で回収されたゴミはまちづくりセンターに集められました。道路沿いの缶やペットボトルなどのポイ捨ては昔より減ってきているものの、今回も四十二袋にもなりました。

次回は、八月四日(日)に実施予定です。で、多くの方のご参加・ご協力をお願いします。



(上) 集められたゴミ、(中) 大船津第三区の様子、(下) 大船津第一区の様子

◆つづやき◆

五月一日に元号が『平成』から『令和』に変わりましたが、「とよつだより」は平成からの発行番号を引き続いて使います。

豊津地区まちづくり委員会が発足し、地区主体のまちづくりセンターとなった平成十六年六月一日に第一号を発行して以来、委員会活動を報告し続け、来年度には五十号を数えます。読み易い紙面づくりに今後も努めてまいりますので、引き続きのご愛読よろしくお願いします。(広報記録専門部員一同)